| | |
|---|---|
| 事例No. | 1177 |
| 公表年度 | R2 |
| 団体の属性 | 中核市 |
| 団体名 | 福井県福井市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 一般行政 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・観光<br>・EBPM |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 木材利用・普及啓発 |

事例内容・タイトル

イベントでの木材利用による普及啓発

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

# 福井県　福井市（イベントでの木材利用による普及啓発）

- 福井市では、森林の持つ多面的機能によりさまざまな恩恵を受けているにもかかわらず、その恩恵が理解されていないことから、森林環境譲与税を活用し、森林の果たす役割や森林整備の必要性などについて普及啓発を図る方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により、木材利用の普及啓発活動を行った。
  - YOSAKOIイッチョライ、朝倉トレイルラン、福井市農林水産奨励賞、木のおもちゃ博など多くの市民、県民、県外客が集まるイベントにおいて、木材を使用し、アンケート調査を行った。
  - 令和２年度においては、アンケート結果等をもとに、木材利用の課題の検討・解決を図り、木材利用の拡大を図る。

## □　事業内容

### 1　木材産業競争力強化対策事業

- 木材利用の普及・啓発を図るため、大規模なイベントにおけるトロフィーや賞状に木材を使用することで、木材に親しみ木材製品の良さを伝える。

【事　業　費】 294千円（全額譲与税）

【実　　績】 木製トロフィー・木製賞状・イベント消耗品

YOSAKOIイッチョライ集客数53,000人

朝倉トレイルラン参加者681人

木のおもちゃ博ワークショップ参加者756人



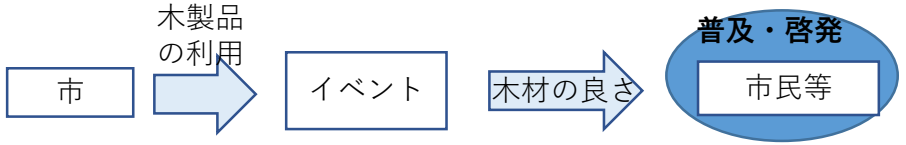

（事業１：トロフィーの様子）



（事業２：イベントの様子）

## □　事業スキーム

1　木材競争力強化対策事業




## □　工夫・留意した点

- イベント時にアンケート調査を行い、合計349名から回答があった。そのうち228名（65%）が木製のトロフィーが良いと回答し、340名（97%）が住まいや生活空間へ木材を利用したいと回答があり、参加者の木材に対する関心の深さを知ることができた

### ◇　基礎データ

| | |
|---|---|
| ①令和元年度譲与額 | 38,592千円 |
| ②私有林人工林面積（※１） | 17,460ha |
| ③林野率（※２） | 59.5% |
| ④人口（※３） | 265,904人 |
| ⑤林業就業者数（※４） | 175人 |

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」